

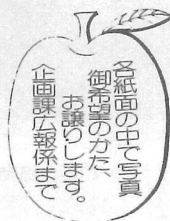
町民のひろは

これあれ自慢

⑬ 鳥喰下大神楽保存会



芸を捨てないことと練習を休まないこと――
部落全体で昔から伝え、受け継がれ、大切にされてきた郷土芸能。後継者不足で途絶えがちな練習も、若い者の加入で再燃。保存会(25名)を結成してからは、毎週三回近くの八幡神社に集って夜遅くまで練習に励んでいる。
ある年配者は、若い後継者を見つめながら「私達の目の黒いうちに舞台だけは教えたい」と語っていた。



横芝町 横芝句会十月例会

大冬瓜貰いし処に貰いけり
土屋 栗水

秋もはや豊作がたの長草(ひでり)
石川 奇水

灌水の玉なし逃ぐる秋早
成田 憐子

つまみ菜の嫩(わか)さを箸に確かめぬ
宇井 芝重

溢れても笹(ざる)の軽さよ菜を間引く
藤代 ゆう

ざくろ割れ古きのれんのそば処
宇井 ゆづる

秋早冬瓜は日々に白さ増す
古屋 紅雲

来る客の背(せな)にバツタを秋早
三枝 句城

向後 雅子

間引菜の笹もち老いのよろめける
若梅あやめ
落花掘る機械に使われ一日暮る
佐久間久子
盆栽に水たつぷりと秋早
津田 若菜

間引菜を鶏は上向き呑みこみぬ
大沢 竹王
秋早農機去りたる藁(わら)のくす
池田 和代

風紋という程もなく秋の浜
木下石果子
間引菜を藁で括(くく)って呉れてゆき
原 ひさし

一つまみ抜き菜を放ち今朝の汁
戸部 澄江
間引菜の菜裏に砂や雨上り
鈴木 南知

秋早くすれし崖の恐ろしき

次回

日時 十二月六日(水)
兼題 「蕪村忌」「若菜」

と。

ご存知ですか 税を知る週間

11日～17日

「人間と動物のちがいは」と聞かれて、あるアメリカの人類学者が言いました。「人間は税金を払うが、動物は払わないことだね」

人間は、昔から他の人間となんらかのかかわりを持ちながら社会を構成し、国を作ってきました。国は、国民が豊かで幸福な生活ができるように、幅広い活動をしています。税金は、この活動の大切な財源なのです。自分の納めている税金がどのく



宇都木 美子

(横芝中1年)

横芝町をきれいにしよう

てしまうのではないだろうか。

私もよく道などでガムを食べながら歩いてそのゴミをポイとすてしまったり、車の中からすててしまったりする。どうせ少しのゴミだからそう思っすててしまっの

この間私の家の前にあきカンやたばこのすいが等がすててあった。私はそれを見て「人の家の前

自分だけなら……みんなそう思ってゴミをすててしまうのだろ